



「他の人は帰りましたけど……監督？」

「遅くまでがんばってるな」

「あつ、監督。お疲れ様です」



「みんな帰ったようだが」

「はい、掃除も終わったので他の人達は帰ったみたいです」

「私は次の試合について・・・」



「.....」
「.....」
「監督？」



「ふう。。。ずっとこうしたかったんだ」



「毎日毎日汗まみれのエロい身体を見せやがって
今までずっと我慢してたんだぞ」

「。。。」

「なあ、俺の女になつてくれよ」

「ここまでさせたんだぞ
俺がどれだけ本気が分かるだろ」

「考えておいてくれ」



翌日の練習後

(集中できなかつた・・・)



「お疲れ」

「あつ監督・・・」

「今日は急な用事で練習見れなくてすまなかつたな
ところで昨日の返事を聞かせてくれ」



「昨日も言ったが俺は本気だからな」

「それはその・・・」

「ん？汗かいたままか？」

「えっ、はい。練習終わったばかりなので……」



「おいおいそれを早く言えよ、こっちは」

「マッサージしてやる」

「ちよ、ちよっと・・・ここですか？」



「だいじょぶだいじょぶ、ちゃんとカギかけといたから」

「外を誰かが通るかもしれないじゃないですか」

「声出さなきゃ平気だって」

「運動直後だから良い匂いするなあ」



「はあ〜やっぱりデカくて柔から」

「んっ・・・やっぱりマッサージ・・・する気ないですね・・・」

「おう」



「お前のせいでこんなガツチガチになっちゃまったわ」

「し、知りません」

ム

ズニヒ

「すまん、ちよっとそのまま足閉じてて」

「はあ、すげえ気持ちいい」

♪
ゴキョ

(あっ……私もちよつとだけ……)





(こんないっぱい出るもんなんだ)



「何だ、やっぱり興味津々じゃないか」

「っ！そんな事はないです・・・」

「じゃあ次は」

「その体勢で尻をこっちに向けて。。。
よしよし、ちゃんと言われた通りにできて偉いな」

(いつも褒めてくれる時と同じだ。。。)

グッ
グッ
グッ

ニ
ニ
ニ

「じゃあ挿れるぞ」



「昨日と違って具合が良いな、もう痛くないか？」

「痛くはないです・・・お腹の下がジンジンするくらいです・・・」

「もう大人チンポを覚えちゃったのか」

ガッパ...

チンポ

アッ
ビクッ

「そんな事・・・んうっ・・・言わないで下さい・・・」

「感じてるのか？それならちよつと激しくしても大丈夫か」





(頭がぱちぱちする・・・なにもかんがえられない・・・)
(うう・・・出しながら頭なでるの
やめてえ・・・)



その後も目が沈むまで抱かれ
私がイキやすい場所を見つけたと嬉しそうに言っは
そこばかり責められて、何度も何度もイカされました

「ふうスッキリした」

「・・・監督」

「なんだ？」

「私はその・・・今までスポーツばかりやってきたので・・・
まだ選手として・・・がんばりたい・・・です」

「おう」



「だから納得する結果を出すまでお返事できません」

「。。。そうか」

「今はまだ選手と監督として
ご指導よろしくお願いします。。。
失礼します」

「おう」

「。。。やっぱり良いな」

翌日、監督は以前と変わらず私に指導をしてくれた
でも前より身体を触る事は増えたかも



監督宅

今日は次の試合の為に二人で対策を考えようと集まった

「……って話だったのに何でこうなるんですか」

「いやいやそのつもりだったんだよ

でもムラムラしちゃってさ」

「1回出せば落ち着くからさ、その後は真面目にやるから」

「嫌って言うてもやるじゃないですか……」

「おう分かってるな」



(最近はいつも胸触られてるなあ・・・
ふたりつきりになるとすぐ・・・)

(男の人ってみんな胸が好きなのかなあ・・・)





「えっ、えっ、これって……」
「乳にはさんでしごくんだよ」

はっはっ

んっ……



(うわぁ・・・すごい音してる・・・)

(中でおっきくなってるけど大丈夫なのかな・・・)

「ふう・・・たくさん出たから舐めとってくれ」
「はい」



「んっ...
クチャクチャ...」

「パイズリもしてくれてお掃除フェラしてもらえる
俺は幸せものだな」

「はいずり？おそうじふえら...」

「一回したら真面目にやるって言ったじゃないですか」

「まあまあ、お前の体を知る事も勝つ為には必要な事だから」

「またそんな」

「適当な事言っつて・・・」

「そんな事ないぞ」



「まずこういうのに弱いだる」

「んっ・・・こんなの好きじゃ・・・」

「おかしいな？」

「こんなに濡れるのに」

「うう・・・」

んっ
んっ

ズ
グ
グ

んっ
んっ
んっ





「あとこんな感じで……」
「あぐっ！」

「鍛えてるから
いきなり根元まで
突っ込まれるような
ハードなやつが
好きなんだよな」

ズッ
グッ

ビクッ

ズッ
グッ

ズッ

グッ

ズッ

「おらっへばるんじやねえ！返してみるっ！」
「は、はいっ」



「さすがに不真面目だった、すまん」
今朝監督が謝ってきた
その穴埋めにスパーリングをしてもらっている
数時間やってるのに
監督は全く疲れてない
やっぱりすごいや・・・

「もう疲れたのか？」

「すいまひえん・・・うう・・・」

~~~~~

「まだまだ課題は多いな、まず持久力が足りない」  
（・・・力が抜けて尻肉が良い感じでやわらけえ）





「・・・監督、あたってます」

「いやだって・・・しょうがないだろ  
そりゃ勃起もするよ」

000

「・・・あーもう完全に緊張感抜けたわ  
ムラムラしてきた」

「んぐっ！・・・ちよ、ちよっど！」

「俺は勝手にやるから練習を続けなければ実力で何とかしろ」

んぐっ  
んぐっ

んぐっ  
んぐっ

んぐっ  
んぐっ

んぐっ  
んぐっ

「そんなむちやくちやな・・・ぐああ・・・」  
（布ごと監督のが中に挿ってくる・・・）









「乳出して揺らしやがって、俺を喜ばしてえのか」

(何で・・・そんな元気なの・・・もう呼吸もつらい・・・)

ゴ  
ル  
ッ

ゴ  
ッ

せ  
え

せ  
え

「ほら、解かねえとまた挿いっちゃうぞ」









「こういうのも興奮するな・・・ああそうじゃなくて途中から遊んじまったがオマエの実力はまだまだだって事だ」

「これからは弱点克服を念頭に・・・大丈夫か？」  
「ふあ、ふあい・・・」  
（やりすぎたかもしれん）



監督の指導のおかげで試合は勝利した  
今は次の試合に向けて強化合宿中

「費用節約のために同じ部屋だけど我慢してくれ」と言っていたけど……

「やっぱりこういう事する為だったんですね」

「まあいいじゃないか、試合も勝ったし」

「そうですけど……」

ガブリ  
ニ  
チリ

「それに何だかんだでお前も好きだろ？」

「そんなことは……」



「あいかわらず嘘がへただな、音たてるくらいびちよびちよじゃねえか」  
「んっ……恥ずかしいので……言わないで下さい……」



「身体の相性はかなり良いんだけどなあ」

ズ  
ビ  
ュ

ズ  
ビ  
ュ



「んっっっっっっっっっっ」

ズ  
ズ  
ズ

ワ  
ワ  
ワ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ

ズ  
ズ  
ズ

ワ  
ワ  
ワ

「イってんだろ？声我慢しなくていいぞ」







「我慢しなくて良いつつたのに、もう選手と監督って感じでもないだろ？」  
「……私はまだ……そんな気には……」

「そう言われると逆にやる気が出る」



数十分間繋がったまま  
身体中の肉を揉まれ  
たまにゆっくり動いて  
絶え間なく中も外も愛撫され続けた

どこを触られても感じるようになってい  
そうなるように時間をかけて  
私の身体は慣らされてしまった・・・



(小刻みに入り口グリグリされてずっとイカされてる……)  
(私の弱い所ばれちゃってるし……嫌がっても逃がしてくれない……)



「敏感になってるから  
ちんぽの形も分かるだろ？」

「……はい」

「よし、そろそろ動くぞ」

「こすれる感覚も中に出される感覚もちゃんと全部味わえよ」  
「はい……んっ」





(あつあつ・・・いつもと同じで掴む力が強くなってる・・・)  
(そろそろ出す気だっ・・・)

ズッ  
ズッ

あつあつ  
あつあつ

あつあつ  
あつあつ

ズッ  
ズッ

あつあつ  
あつあつ

グッ  
グッ

あつあつ  
あつあつ

あつあつ

あつあつ



(やっぱり独占欲強いのかなあ・・・無理やりされた時の思い出しちゃった・・・)  
(いつも射精する時動けないくらい強く抱きしめるけど)



(そんな事しなくたってよかったのに・・・)

はぁ  
はぁ~~~~♡

はぁ~~~~♡

グ  
グ~~~~

グ  
グ~~~~

グ  
グ~~~~

グ  
グ~~~~

グ  
グ~~~~

グ  
グ~~~~

更に時間が経って・・・

「も、もう、ここじゃだめですよお・・・」

「他の奴らは帰ったし良いじゃねえか、我慢できねえよ」



「それにさあ、大会だって終わったたる？そるそる返事を。。。」  
「これから世界大会がありますからダメです」

Σ(=

「私が選手としてがんばれるうちは監督も監督ですからね」

「ぬう。。。じゃあまだ返事はおあずけか」



「・・・でも、今の時間は監督じゃないだろ？  
明日も練習中は真面目にやるしさ、なあなあ」

っっ

トキトキ

あいかかわらず強引な人だなあ  
何で私はこんな人を・・・

「しょうがないですねえ・・・良いですよ、○○さん」

おしまい























































































































